

教育目標 なかよく かしこく たくましく

1 めざす学校像

『笑顔輝く 分水北学校』 学ぶ喜びにあふれ、一人一人が主人公  
自信と誇りをもてる充実した3年間に！

(1) 全ての子どもが学ぶ喜びを感じ、明るく活力に満ちた学校

- ・子どもたちの「挑戦する意欲」、主体性を引き出せるよう目的を意識させ、考えさせる指導を行う。
- ・挑戦することを重視し、失敗することを恐れない指導をする。(失敗したらやり直せばいい)
- ・結果よりも、そこに至る過程を認める言葉掛けを工夫する。

(2) 信頼で結ばれ、心の通い合う学校

- ・学校(子ども、教職員)・家庭・地域が当事者意識をもち、連携して教育活動を推進する。  
(子どもが変われば親が変わる、親が変われば地域が変わる・・・教師が笑えば子どもも笑う)
- ・うまくいかないときに、批判ではなく、意見(改善策)を出し合える関係づくり。
- ・研鑽を積み、授業や指導を充実させる教職員。
- ・自分の分掌のことだけでなく、学校全体のことを考え、仕事の隙間を進んで補い合う教職員集団。
- ・家庭と仕事を両立し、健康で生き生きと働く教職員集団。(働き方改革の推進)

(3) 安全安心で潤いのある学校

- ・整頓され学びやすく潤いのある教育環境を、教職員も子どもも進んで整え、瑞々しい感性を磨く。
- ・心理的、物理的に安心して学校生活を送れるよう、社会的スキルの育成を図る。

2 学校経営の基盤

- I 多様性を認め合い、学び合う授業の実践
- II 全教育活動を通じた自主性・社会性の育成
- III 安全で健康に過ごせる環境の整備
- IV ふるさと・燕に生きる教育の実践

3 具体的方針

I-①学びの土台となるリーディングスキルを育成する。

- ・リーディングスキルを土台とした読解力(Input,Thinking,Output)の育成を目指した授業実践
- ・授業終末における振り返りの習慣化と振り返り方法の工夫
- ・ICTの特長を生かした効果的な指導の実践(情報共有、発表、思考、個別最適化のための活用)

I-②違いを認め合い、違いから学び合う授業づくりを進める。

- ・自分の考えを表現し、互いの考えを聞き合い、考えを深める授業
- ・授業の中で行う、温かい学級づくり

II-①人とかかわるためのツールとしてのあいさつの質の向上を図る。

- ・朝のあいさつ「おはようございます」の徹底(目を合わせ、笑顔で、会釈しながら、相手に聞こえる声で)、昼のあいさつ「こんにちは」の励行(来客対応につなげる)

II-②縦割り班活動、特別活動、宝物ファイルの取組を通して自己有用感を育成する。

- ・異学年交流のあり方の探求、効果的な活動の積み重ね
- ・特別活動を中心に他とのかかわりの中で自ら考え、行動する自立した子の育成
- ・宝物ファイルの取組に関する共通理解と歩調を合わせた共通実践

III-①子どもたちが運動したくなる環境を整備する。

- ・広い校地、校舎を生かした、運動したくなる環境づくり
- ・家庭と連携した、よりよい生活習慣の習得

IV-①「ふるさと燕」に積極的に働き掛け、ふるさとを愛する心や豊かな心を育てる。

- ・生活科、「総合」を中心とした地域の歴史・自然・文化や素材を生かした活動の推進  
【低学年】地域をフィールドに活動し、地域を好きになる。  
【中学年】地域のよさを知り、地域に発信する。  
【高学年】地域と自分の未来を考え、地域に働きかける。

IV-②家庭・地域と目的を共有し、連携のあり方を考える。

- ・家庭や地域との連携強化、開かれた学校づくりの一層の推進(地域コーディネーターの活用)
- ・学校日より、学年日より、ホームページを通じた子どもの育ち、教育活動の発信